

(2) 会計別予算規模

平成22年度当初予算の総額は、801億3,748万円で、その内訳は、一般会計が572億円、特別会計が9会計（10勘定）で229億3,748万円です。

前年度と比較すると、一般会計で3億円（0.5%）の増額となりましたが、これは、子ども手当・児童手当支給事業、生活保護扶助費等の扶助費、JR・京成成田駅中央口地区整備事業、公津の杜複合施設整備事業などによるものです。

【第1表 当初予算総括表】

（単位：千円）

会計区分		平成22年度 当初予算額	平成21年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)	
一般会計		57,200,000	56,900,000	300,000	0.5	
特別 会計 計	国民健康保険	事業勘定	10,896,427	10,766,978	129,449	1.2
		施設勘定	149,911	142,486	7,425	5.2
	下水道事業		2,090,095	2,195,083	△ 104,988	△ 4.8
	公設地方卸売市場		217,351	243,047	△ 25,696	△ 10.6
	老人保健		2,235	31,289	△ 29,054	△ 92.9
	介護保険		4,320,999	4,144,680	176,319	4.3
	農業集落排水事業		161,314	171,279	△ 9,965	△ 5.8
	後期高齢者医療		849,020	658,083	190,937	29.0
	簡易水道事業		366,952	322,222	44,730	13.9
	水道事業		3,883,180	3,961,906	△ 78,726	△ 2.0
	合計		22,937,484	22,637,053	300,431	1.3
総計		80,137,484	79,537,053	600,431	0.8	

【用語解説】

会計の名称

会計の名称		内容
一	般 会 計	市の基本的な行政を行うための会計です。
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	事業勘定では、被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際し、必要な保険給付を行い、施設勘定では、大栄診療所の運営を行います。
	下 水 道 事 業	都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
	公 設 地 方 卸 売 市 場	青果物、水産物などの生鮮食料品を安定した価格で提供し、市民生活の向上を図ります。
	老 人 保 健	老人医療受給者に医療費(平成20年3月までの診療分)を給付することを目的としています。
	介 護 保 険	被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
	農 業 集 落 排 水 事 業	農業集落におけるし尿、生活雑排水などを処理する施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
	後 期 高 齢 者 医 療	75歳以上の後期高齢者医療に関する保険料の徴収などを行うことを目的としています。
	簡 易 水 道 事 業	給水人口5,000人以下の地区について、安全な水の安定的な供給を目的としています。
	水 道 事 業	給水人口が5,000人を超える地区について、安全な水の安定的な供給を目的としています。

※ 特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要があるときに設ける会計です。

※ 老人保健制度が見直されて、後期高齢者医療制度が導入されましたが、平成20年3月までの診療分の医療費を給付するため、平成22年度まで老人保健特別会計で経理を行います。